



**FOR A BETTER LIFE  
AND SUSTAINABLE FUTURE**

企業ミッション

# 「IT」を 人や社会のために

ITは人や社会を豊かにしてきました。

ITはますます進展を加速し、価値を高めています。

ITで人が笑顔になれる社会のために。

社名「ITFOR」には、私たちの果たすべき使命が込められています。

アイティフォーが海外の情報機器やシステムを輸入・販売する千代田情報機器株式会社として創業したのは1972年。日本初のオンラインPOSシステムや延滞債権の督促を行うオートコールシステムを開発・販売するなど、特定業界における高度なシステム構築力を磨いてきました。その後、システムそのものの提供にとどまらず、付加価値をつけたサービスを提供することで、お客様の多様化するニーズに応え、成長してきました。そして現在、私たちアイティフォーは、磨き上げた技術と積み重ねた経験を活かし、お客様だけでなくその先にいる社会の人々の存在を常に意識した“総合サービス”を提供しています。

アイティフォーの経営理念である「『寄り添うチカラ』で人々の感動と笑顔を生み出す」。それは、システム(IT)と業務(BPO)を通じて、企業の皆様をはじめ地域社会の人々の暮らしを喜びにあふれたものにする。これこそがアイティフォーの使命です。



## 目次

<b>1. イントロダクション</b>	<b>6. 社長メッセージ</b>	22	DX推進による生産性向上、付加価値向上	45
企業ミッション		2	人財の深化	46
目次	<b>7. 価値創造戦略</b>		経営基盤の強化 (コーポレートガバナンス)	48
編集方針	第3次中期経営計画	28	経営基盤の強化 (コンプライアンス・リスクマネジメント)	50
	フィナンシャルシステム事業部	30		
<b>2. ビジネス概要</b>	決済ビジネス事業部	32	<b>10. 社外取締役メッセージ</b>	51
事業内容と社会貢献	流通・eコマースシステム事業部	33		
事業内容のビジュアル分解	CTIシステム事業部	34	<b>11. 財務情報</b>	
企業ミッションと歴史的背景	通信システム事業部	35	直近10年間の業績推移	52
	公共システム事業部	36	セグメント分類の変更の背景	54
<b>3. 価値創造プロセス</b>	技術開発本部	37	11年間のサマリー	56
価値創造プロセス				
ビジネスモデルの詳細	<b>8. CFOメッセージ</b>	38		
<b>4. 特集: お客様対談</b>	<b>9. サステナビリティへの取り組み</b>		<b>12. 企業情報</b>	
	アイティフォーのサステナビリティ	40	役員紹介	58
<b>5. ハイライト</b>	ESG推進の取り組み	42	会社概要	59
財務情報	環境負荷の低減	43		
非財務情報	「地方創生」による社会貢献	44		

## 編集方針

本報告書は、株式会社アイティフォーの持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解いただきやすいよう、重要な財務・非財務情報を関連付けながら、特にお伝えしたい事項を中心に編集しています。編集に当たっては、国際統合報告協議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値創造のための統合的開示・対話ガイダンス」などを参考としています。

重要なテーマである価値創造プロセスにおいては、非財務資本である人財やITインフラ(DX)を積極的に活用し、これまで多くの提供実績を有する地方のお客様に最新かつ最適なサービスを提供することで、地方創生を推進し、さらなる企業価値向上を目指すためのビジネスモデルを4ページにわたって記載しています。

本報告書が、皆様の当社に対する理解促進の一助となり、皆様との対話の1つとしてご活用いただけますと幸いです。

■対象期間：2022年4月～2023年3月  
※一部、非財務情報において、2023年6月まで含みます。

■対象範囲：株式会社アイティフォー  
※財務情報は、アイティフォー全グループ6社を対象としています。

■免責事項：  
本報告書は、株式会社アイティフォーの企業価値向上に向けた取り組みに関する情報の提供を目的としたものであり、株式の購入や売却を勧誘するものではありません。また、業績予想や将来の見方については保証の限りではありません。

※当報告書内に記載されている会社名およびサービス・製品名等は、各社の商標または登録商標です。

より詳しい情報は、当社ホームページをご参照ください。  
<https://www.itfor.co.jp>

発行日 2023年12月1日、次回発行 2024年9月頃予定